



2026年9月8日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク

12,345万kW

13時30分、123,449 MW
(10エリア同時刻合計)

☀ 太陽光ピーク

2,339万kW

11時30分、23,390 MW
(自家消費分除く)

≈ 風力ピーク

121万kW

23時30分、1,213 MW

◇ 再エネ最大需要比

30.2%

12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア

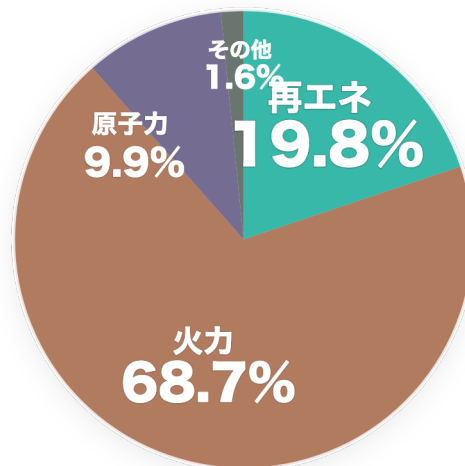
東京

117 GWh

↔ 最大送電エリア

東北

115 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 42.8%

34.2 GWh

出力抑制量

0.0 GWh

最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電

42.8 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、16:00に4,015万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで42.8%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	19.8%	発電電力量ベース
再エネ発電量	496 GWh	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	2,502 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	30.2%	12時
出力抑制量	0.0 GWh	最大: 北海道
揚水・蓄電の充電	42.8 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	42.8%	34.2	0.0	送電 4.4
東北	27.9%	91.9	0.0	送電 115
東京	14.9%	103	0.0	受電 117
中部	20.8%	67.0	0.0	受電 79.9
北陸	31.5%	26.0	0.0	送電 4.4
関西	13.8%	52.1	0.0	受電 35.1
中国	13.2%	24.3	0.0	送電 12.4
四国	17.4%	17.9	0.0	送電 30.2
九州	25.2%	76.6	0.0	送電 42.1
沖縄	11.5%	3.2	0.0	—



2026年9月8日の供給実績

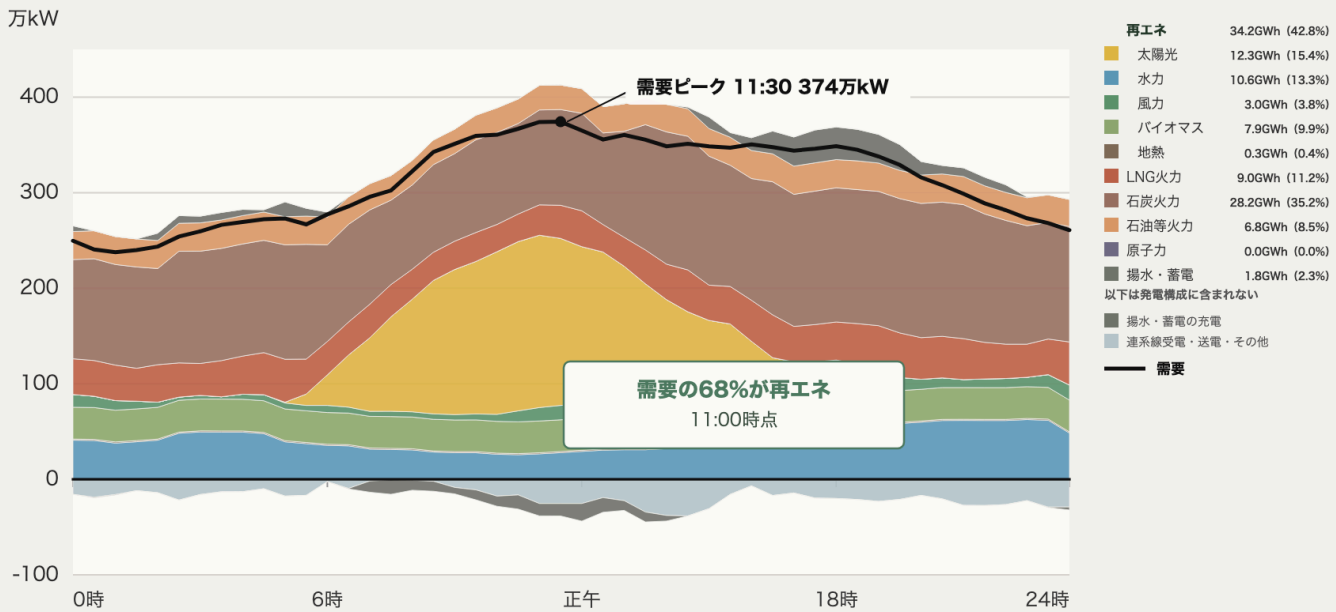
北海道エリア

再エネ

34.2GWh

(発電電力量ベース42.8%)

北海道エリア 2026年9月8日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

80.1GWh

需要ピーク

11:30、374万kW

連系線・その他

4.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク180万kW、風力ピーク26万kWで、時間別の再エネ最大需要比は68.3%だった。



2026年9月8日の供給実績

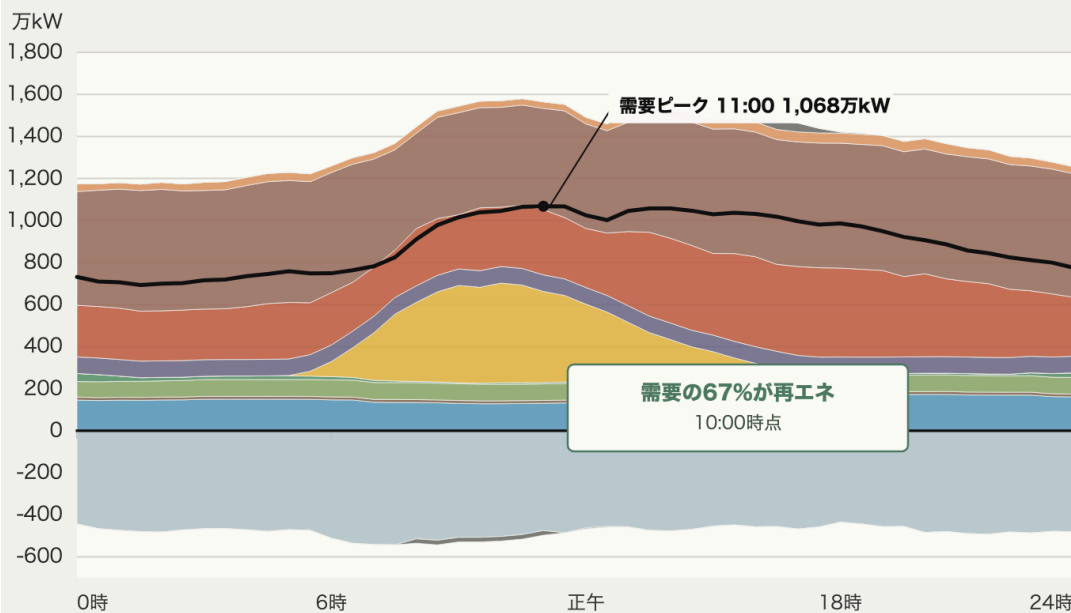
東北エリア

再エネ

91.9GWh

(発電電力量ベース27.9%)

東北エリア 2026年9月8日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 330GWh
(3,298万kWh)

再エネ	91.9GWh (27.9%)
太陽光	30.6GWh (9.3%)
水力	35.9GWh (10.9%)
風力	3.1GWh (0.9%)
バイオマス	18.9GWh (5.7%)
地熱	3.3GWh (1.0%)
LNG火力	75.8GWh (23.0%)
石炭火力	133.4GWh (40.4%)
石油等火力	9.2GWh (2.8%)
原子力	18.9GWh (5.7%)
揚水・蓄電	0.7GWh (0.2%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

329.8GWh

需要ピーク

11:00、1,068万kW

連系線・その他

115.0GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.8GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東北は、太陽光ピーク475万kW、風力ピーク38万kWで、時間別の再エネ最大需要比は68.1%だった。



2026年9月8日の供給実績

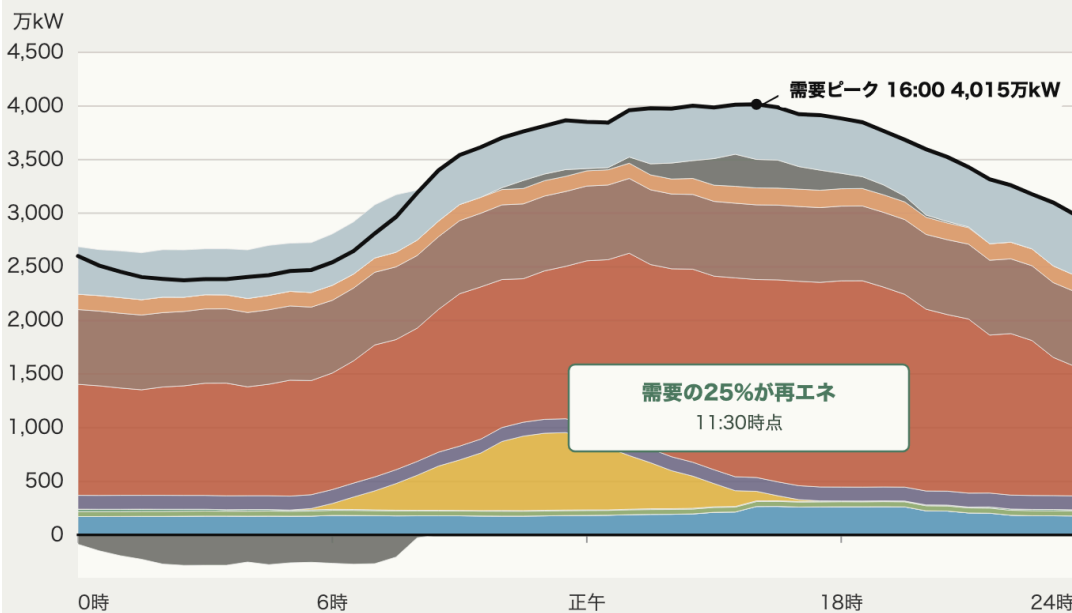
東京エリア

再エネ

103.3GWh

(発電電力量ベース14.9%)

東京エリア 2026年9月8日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 693GWh
(6,930万kWh)

再エネ	103.3GWh (14.9%)
太陽光	42.5GWh (6.1%)
水力	47.3GWh (6.8%)
風力	2.4GWh (0.3%)
バイオマス	11.1GWh (1.6%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	343.7GWh (49.6%)
石炭火力	166.4GWh (24.0%)
石油等火力	35.3GWh (5.1%)
原子力	31.1GWh (4.5%)
揚水・蓄電	13.2GWh (1.9%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

693.0GWh

需要ピーク

16:00、4,015万kW

連系線・その他

117.1GWhの受電

揚水・蓄電の充電

19.3GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク722万kW、風力ピーク22万kWで、時間別の再エネ最大需要比は24.9%だった。



2026年9月8日の供給実績

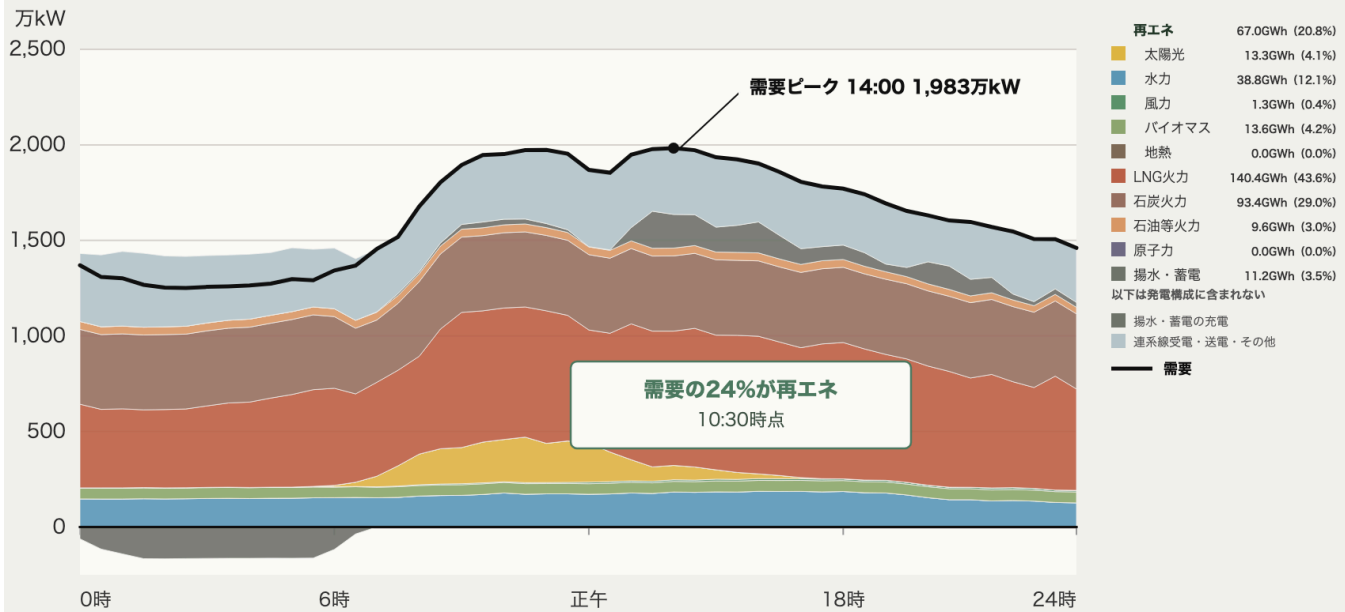
中部エリア

再エネ

67.0GWh

(発電電力量ベース20.8%)

中部エリア 2026年9月8日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

321.6GWh

需要ピーク

14:00、1,983万kW

連系線・その他

79.9GWhの受電

揚水・蓄電の充電

9.7GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク238万kW、風力ピーク11万kWで、時間別の再エネ最大需要比は23.9%だった。



2026年9月8日の供給実績

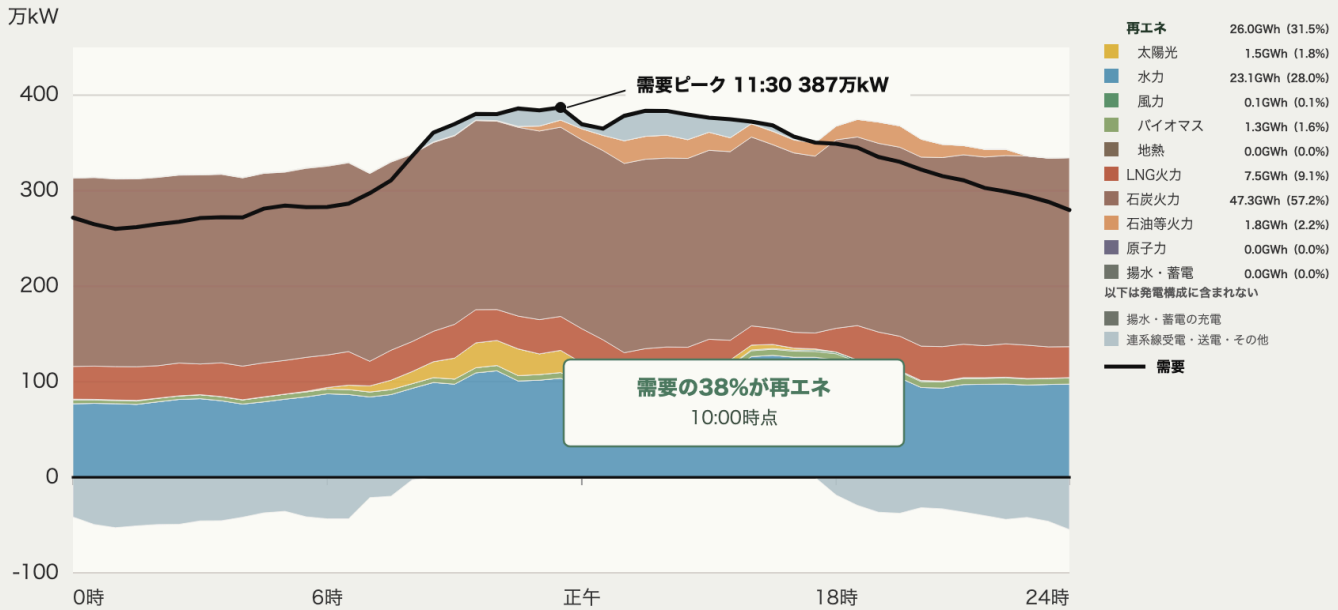
北陸エリア

再エネ

26.0GWh

(発電電力量ベース31.5%)

北陸エリア 2026年9月8日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

82.6GWh

需要ピーク

11:30、387万kW

連系線・その他

5.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク28万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は38.4%だった。



2026年9月8日の供給実績

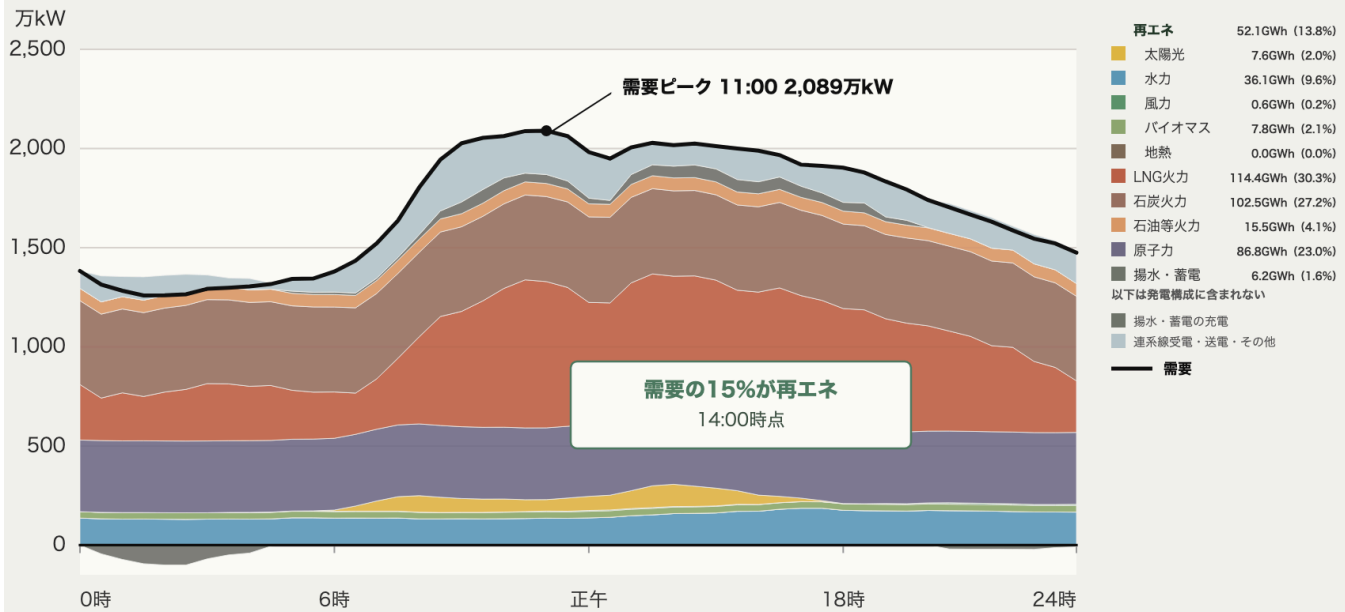
関西エリア

再エネ

52.1GWh

(発電電力量ベース13.8%)

関西エリア 2026年9月8日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

377.6GWh

需要ピーク

11:00、2,089万kW

連系線・その他

35.1GWhの受電

揚水・蓄電の充電

3.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク112万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は15.2%だった。



2026年9月8日の供給実績

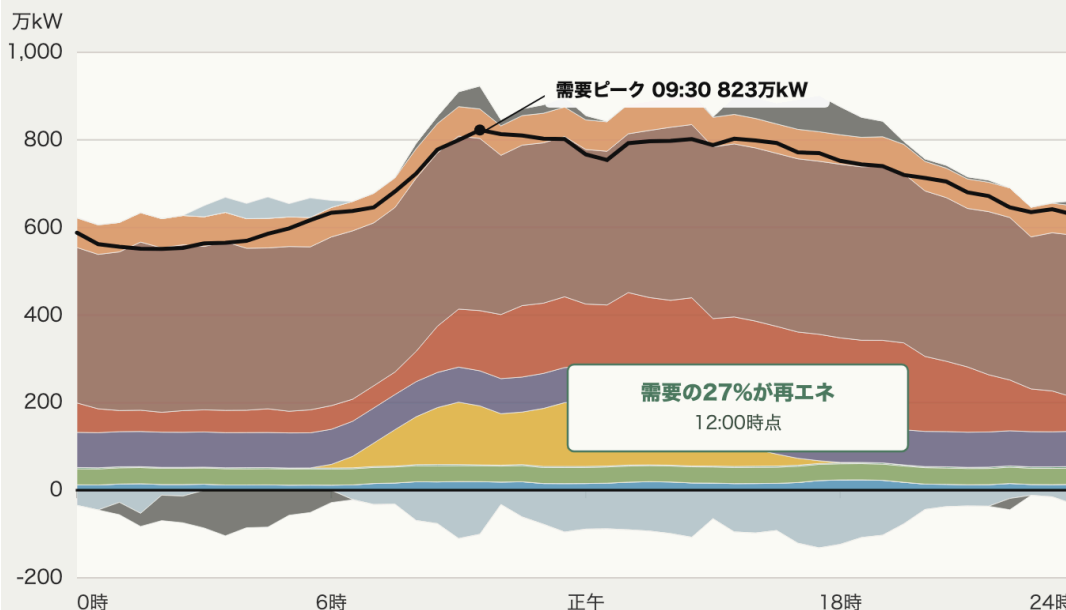
中国エリア

再エネ

24.3GWh

(発電電力量ベース13.2%)

中国エリア 2026年9月8日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 183GWh
(1,834万kWh)

再エネ	24.3GWh (13.2%)
太陽光	11.1GWh (6.0%)
水力	3.8GWh (2.1%)
風力	0.6GWh (0.3%)
バイオマス	8.8GWh (4.8%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	29.7GWh (16.2%)
石炭火力	90.7GWh (49.4%)
石油等火力	16.2GWh (8.8%)
原子力	19.2GWh (10.5%)
揚水・蓄電	3.4GWh (1.9%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

183.4GWh

需要ピーク

09:30、823万kW

連系線・その他

13.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電

3.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク149万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は26.6%だった。



2026年9月8日の供給実績

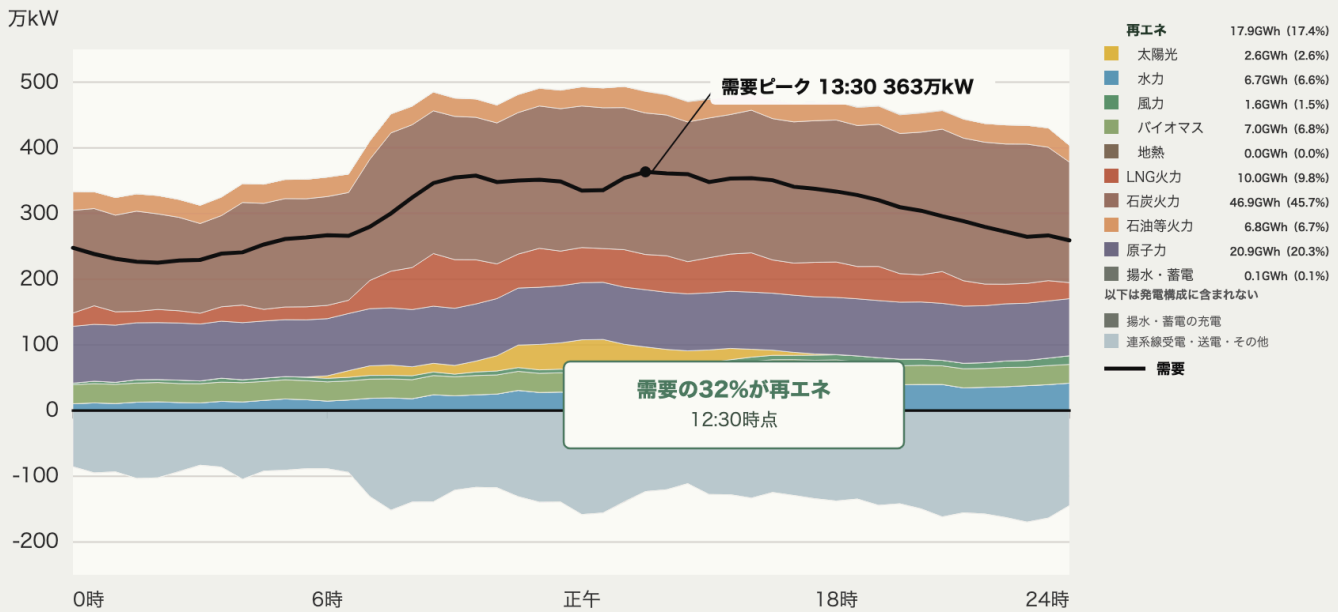
四国エリア

再エネ

17.9GWh

(発電電力量ベース17.4%)

四国エリア 2026年9月8日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

102.7GWh

需要ピーク

13:30、363万kW

連系線・その他

30.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク46万kW、風力ピーク13万kWで、時間別の再エネ最大需要比は32.3%だった。



2026年9月8日の供給実績

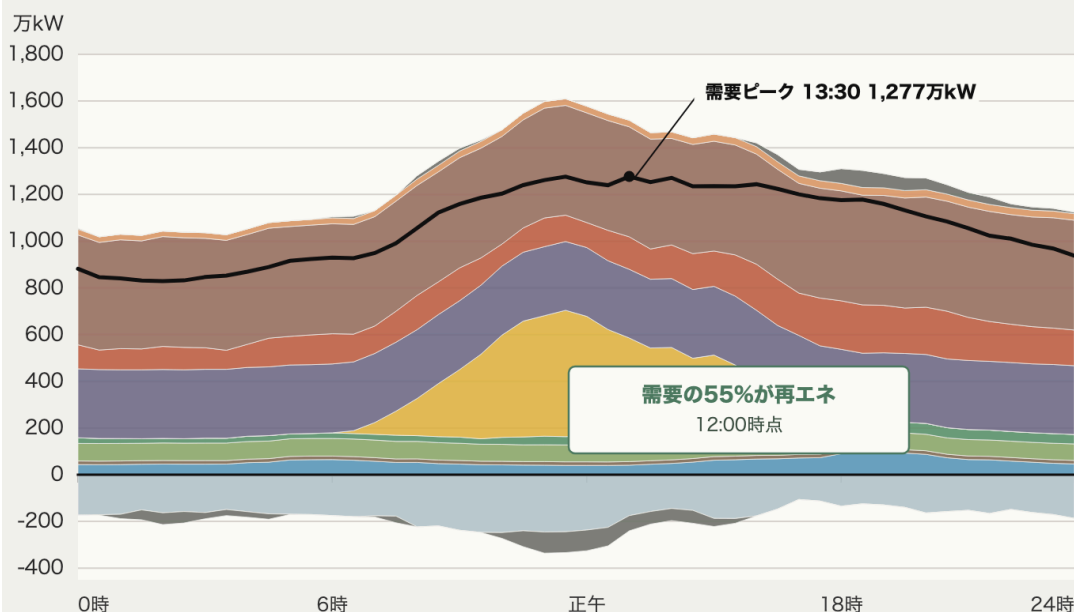
九州エリア

再エネ

76.6GWh

(発電電力量ベース25.2%)

九州エリア 2026年9月8日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 304GWh
(3,039万kWh)

再エネ	76.6GWh (25.2%)
太陽光	33.9GWh (11.1%)
水力	13.6GWh (4.5%)
風力	8.0GWh (2.6%)
バイオマス	17.5GWh (5.8%)
地熱	3.6GWh (1.2%)
LNG火力	34.0GWh (11.2%)
石炭火力	112.6GWh (37.1%)
石油等火力	6.7GWh (2.2%)
原子力	70.8GWh (23.3%)
揚水・蓄電	3.2GWh (1.1%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

303.9GWh

需要ピーク

13:30、1,277万kW

連系線・その他

42.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電

5.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク541万kW、風力ピーク46万kWで、時間別の再エネ最大需要比は55.2%だった。



2026年9月8日の供給実績

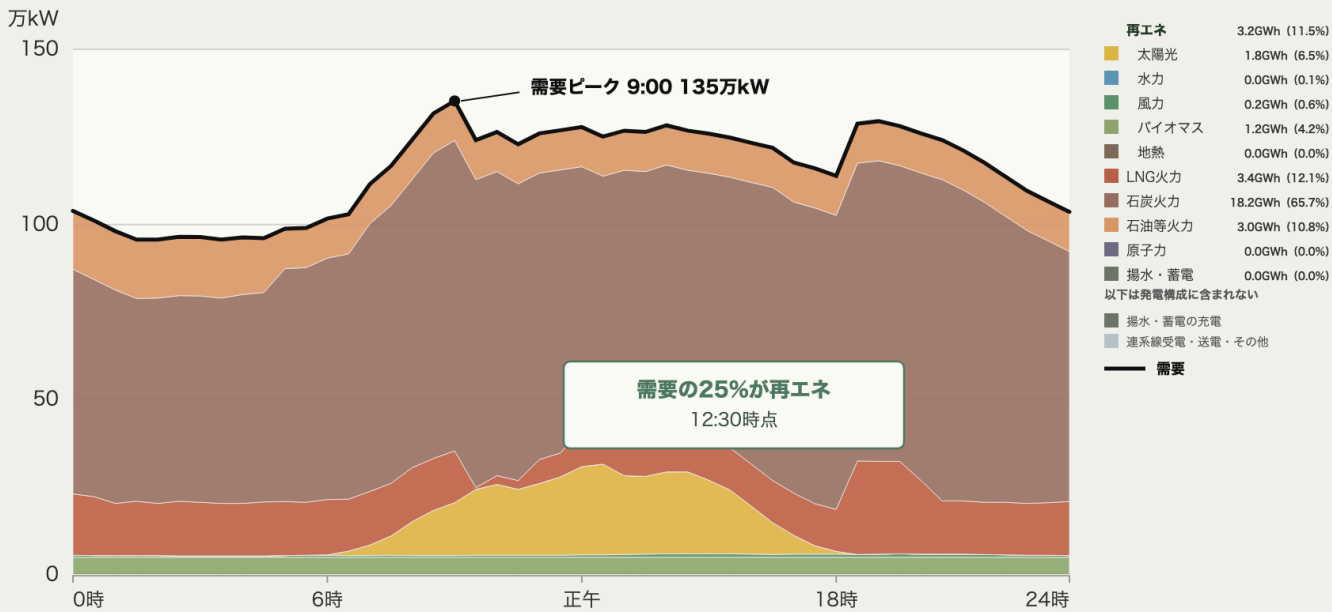
沖縄エリア

再エネ

3.2GWh

(発電電力量ベース11.5%)

沖縄エリア 2026年9月8日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

27.7GWh

需要ピーク

9:00、135万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク26万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は25.3%だった。